

平成 29年度

# 学校関係者評価書

東洋理容美容専門学校  
学校関係者評価委員会

## 全体評価

理容美容業界人としての在り方やマナーを身につけることに主眼をおき、内部教員と外部講師による適切な指導を積み重ねた結果、一定の成果が定着し学校全体として落ち着いた環境である。来年度も更に質が上がることを期待する。

今年度は理容科・美容科ともに修得者課程を設置し、理容師美容師のダブルライセンス取得に向けての対応の早さを評価したい。今後は理容美容併設校としての強みを前面に出し、業界発展に寄与してもらいたい。

定員確保については、今年度から美容科の定員増を実施したこともあり、理容科・美容科共に入学者数が達していない。昨年に以上に教職員一丸となった広報活動と本校の素晴らしい教育を多くの人に理解してもらうことが必要と思われる。

平成26年度から実施した「研究授業」、平成27年度から実施した「シャンプー授業サポート」は理美容業界からの意見を積極的に取り入れカリキュラムに反映していると評価できる。教員の教育力向上のためにも検証と改善を繰り返し、更に質の高い授業を期待したい。

## 項目別評価

### (1) 教育理念、教育目標

教育理念、教育目標ともに明文化され整備されている。ホームページでの情報公開も出来ている。学校案内パンフレットへの対応を望む。

### (2) 学校運営

概ね良好である。主任会議を開催予定とのことだが、密に連携を図り良好な学校運営を望む。

### (3) 教育活動

現時点では良好であると判断する。改善方策にある「実務に関する知識・技術・技能を修得・向上するための研修」、「授業及び学生に対する指導力等を修得・向上するための研修」だが、教員は学生指導に忙しいとは思いますが効率よく時間を作り実施して欲しい。

### (4) 学修成果

昨年に引き続き国家試験合格率が安定している。クラス担任による丁寧な学科指導のたまものと思われる。是非次年度も継続して欲しい。今年度も介護職員初任者研修は今年度も実施に至らず残念であるが、短期マスターの実施は評価できる。同窓会活動利用し、卒業生への案内も希望する。

### (5) 学生支援

昨年同様「特待生制度」、「奨学金制度」が実施されたことを評価したい。学生支援の原資を確保する上でも寄附金、後援会など方法を考えてもらいたい。

(6)教育環境

新本館の完成により、教育環境は大幅に向上した。1号館の耐震診断を急いで実施してもらいたい。  
災害時用に食料と水を備蓄してあるのは、地域に貢献する意味も含めて評価できる。防災マニュアルの作成を急いでほしい。

(7)学生の受入れ募集

理容科美容科ともに定員確保ができなかった。競合校の動向、少子化や大学全入学、経済状況の悪化、業界の縮小等の問題はあるが、定員確保に努力してほしい。

(8)財務

財務は良好であるが、経営を更に安定させるためにも学生募集に力を入れてほしい。

(9)法令等の遵守

法令を遵守していると確認した。

(10)社会貢献・地域貢献

定期的な募金活動、美容ボランティア、大学のヘアメイクボランティアなど高評価である。姉妹校のボランティア協力も良い活動である。

(11)国際交流

イギリスのサスーン校とスクールシップを結んでおり、教育プログラム実施と海外研修の実施は良い取り組みだと思ふ。今年度は英国シェフィールドカレッジの学生交流が実施できたことは実に喜ばしい。